

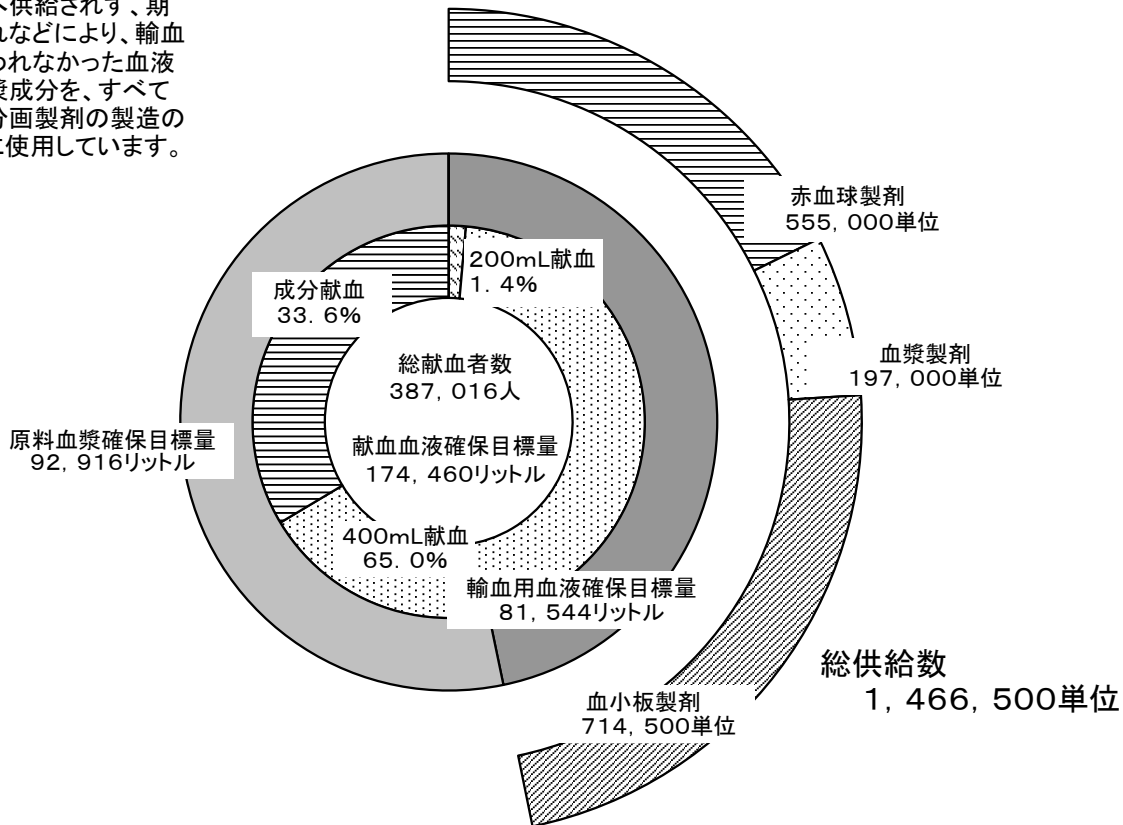
令和6年度 献血目標

献血していただいた血液は、医療機関に送られ、がん、血液や造血器の病気、各種感染症、やけど、交通事故などの患者さんの治療に幅広く使用されます。

・血漿分画製剤に必要な血漿量は、全国で123万リットル(令和6年度)です。

・血液センターでは、医療機関へ供給されず、期限切れなどにより、輸血に使われなかった血液の血漿成分を、すべて血漿分画製剤の製造のために使用しています。

*より一層の安全性向上のため、400mL献血の献血目標割合を、97.9%(全血献血中構成比)としました。



・医療機関では患者さんの病気や症状によりそれぞれ血液製剤が輸血されます。

・1単位は、約200mLの血液から得られる各製剤の量です。

令和6年度献血目標							
	献血者数(人)	構成比(%)	献血量(L)	採血場所別献血者目標(人)			
				血液センター	献血ルーム	移動採血車(オープン献血含む)	
全血献血	200mL	5,386	1.4%	1,077	169	2,233	2,984
	400mL	251,700	65.0%	100,680	8,671	135,690	107,339
成分献血	血漿	82,220	33.6%	46,715	5,082	77,138	0
	血小板	47,710					
合計	387,016		174,460	19,846	256,847	110,323	